

2025年4月28日
株式会社日本政策金融公庫

持ち直しの動きに足踏みがみられる生活衛生関係営業の景況

生活衛生関係営業の景気動向等調査結果（2025年1～3月期）

（前回）持ち直しの動きに足踏みがみられる生活衛生関係営業の景況

＜業況判断DI＞（2ページ）

- 業況判断DIは、前期から13.5ポイント低下し、▲20.9となった。
- 来期は16.9ポイント上昇し、▲4.0となる見通し。

＜売上DI＞（3ページ）

- 売上DIは、前期から5.5ポイント低下し、▲7.8となった。
- 来期は6.0ポイント上昇し、▲1.8となる見通し。

＜採算DI＞（4ページ）

- 採算DIは、前期から4.4ポイント低下し、▲7.2となった。

＜経営上の問題点＞（9、10ページ）

- 経営上の問題点は、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」が56.1%と最も多く、次いで、「顧客数の減少」（40.5%）、「従業員の確保難」（19.9%）の順となった。

※ 11ページ以降に業種ごとの業況判断理由を掲載しています。そのほか、本調査で収集した「経営取り組み事例」を日本公庫ホームページに掲載しています（https://www.jfc.go.jp/n/findings/seikatu_kekka_m_index.html）。

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 国民生活事業本部 生活衛生融資部 生活衛生情報支援グループ TEL03-3270-1653（担当：和知、青木）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

【調査の実施要領】

調 査 時 点	2025年 3 月上旬					
調 査 方 法	訪問調査					
調 査 対 象	生活衛生関係営業	3,290	企業			
有効回答企業数	3,141企業（回答率 95.5%）					
（業 種 内 訳）	飲食業	1,445	企業	映画館	55	企業
	食肉・食鳥肉販売業	154	企業	ホテル・旅館業	181	企業
	氷雪販売業	57	企業	公衆浴場業	109	企業
	理容業	415	企業	クリーニング業	265	企業
	美容業	460	企業			

【本調査における留意事項】

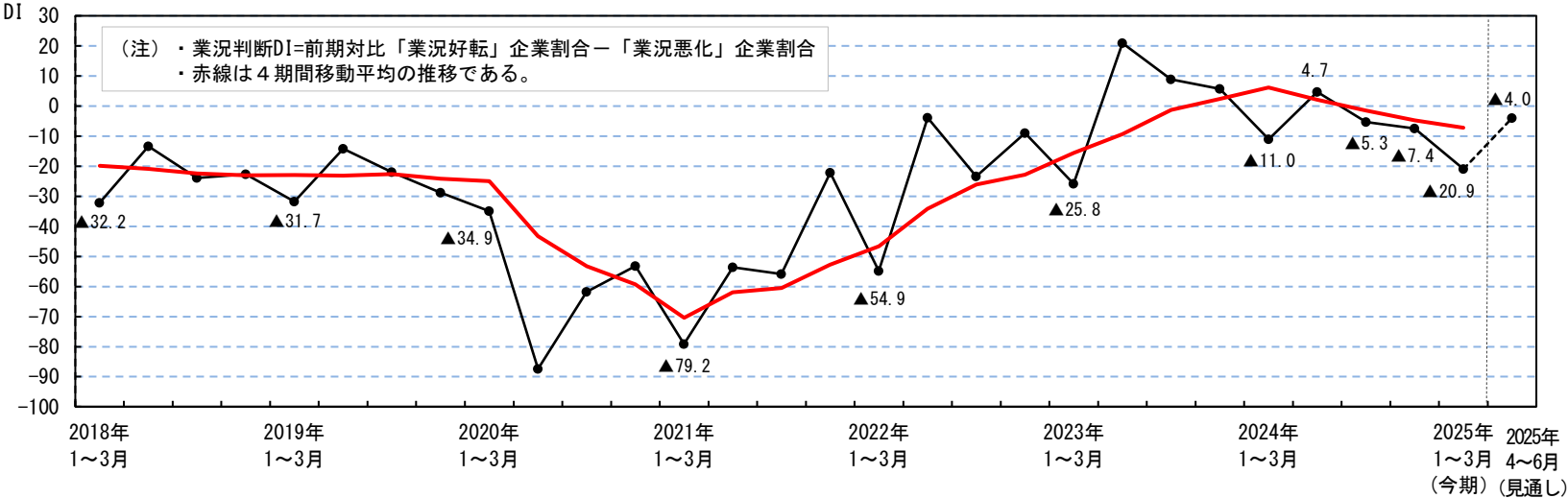
- ・ 比率の算出にあたっては、無回答を除いたものを母数としている。

I 景気の動向

1. 業況判断

- 業況判断DIは、前期から13.5ポイント低下し、▲20.9となった。
- 来期は16.9ポイント上昇し、▲4.0となる見通し。

図表1 業況判断DIの推移（全業種計）



図表2 業種別 業況判断DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月	2025年 1~3月 (今期)	2025年 4~6月 (見通し)
食肉・食鳥肉	▲ 13.4	0.6	▲ 12.4	▲ 0.6	▲ 20.1	▲ 2.6
氷 雪	▲ 24.5	19.3	41.1	▲ 20.0	▲ 24.6	1.8
理 容	▲ 25.5	▲ 5.2	▲ 10.4	▲ 19.6	▲ 25.1	▲ 8.4
美 容	▲ 20.5	▲ 9.3	▲ 13.0	▲ 17.9	▲ 26.5	▲ 11.5
映 画 館	▲ 8.2	▲ 27.6	0.0	▲ 58.9	▲ 1.8	16.4
ホテル・旅館	▲ 6.7	27.1	15.6	24.9	▲ 19.3	15.5
公衆浴場	12.8	▲ 10.6	▲ 23.6	▲ 11.9	▲ 2.8	▲ 12.8
クリーニング	▲ 39.1	22.2	▲ 31.4	▲ 6.4	▲ 47.2	6.4

図表3 飲食業 業況判断DIの推移

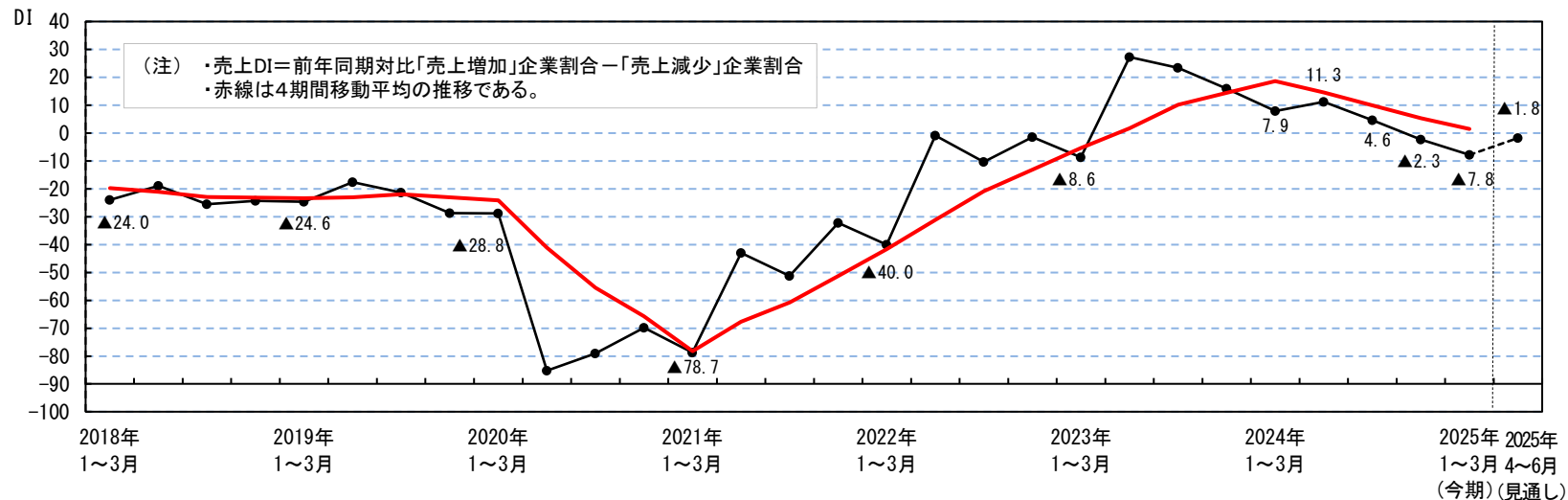
凡例	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月	2025年 1~3月 (今期)	2025年 4~6月 (見通し)
飲食業(全体)	▲ 0.1	8.3	1.0	▲ 2.6	▲ 15.4	▲ 5.2
そば・うどん	▲ 7.1	16.2	10.4	▲ 8.4	▲ 16.4	▲ 10.4
中華料理	6.9	8.0	13.6	3.9	▲ 3.4	▲ 4.8
す し	▲ 11.2	2.7	1.7	▲ 12.4	▲ 14.2	▲ 11.4
料 理	13.1	12.2	▲ 3.1	9.1	▲ 19.5	▲ 4.7
喫 茶	1.3	7.3	▲ 4.6	0.0	▲ 22.1	▲ 13.0
社 交	▲ 5.6	▲ 4.1	▲ 12.3	▲ 13.6	▲ 26.1	▲ 0.5
その他飲食	3.1	11.8	1.3	2.0	▲ 11.1	▲ 0.4

※ 表中の網掛けは、全業種計の割合を上回るものを表す(以下同じ)。

2. 売 上

- 売上DIは、前期から5.5ポイント低下し、▲7.8となった。
- 来期は6.0ポイント上昇し、▲1.8となる見通し。

図表4 売上DIの推移（全業種計）



図表5 業種別 売上DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月	2025年 1~3月 (今期)	2025年 4~6月 (見通し)
食肉・食鳥肉	14.7	18.7	7.8	3.2	▲4.5	1.3
氷 雪	▲1.9	14.0	35.7	7.3	1.8	0.0
理 容	▲12.8	▲5.3	▲3.6	▲15.1	▲18.1	▲14.7
美 容	▲4.1	▲8.5	▲11.3	▲16.9	▲24.8	▲16.7
映 画 館	▲16.4	▲17.2	▲15.3	▲46.4	▲7.3	10.9
ホテル・旅館	22.3	37.2	19.4	37.9	12.2	27.1
公衆浴場	26.6	5.8	▲6.6	▲1.8	6.5	▲4.6
クリーニング	▲21.7	11.9	▲2.3	▲18.1	▲25.3	▲9.1

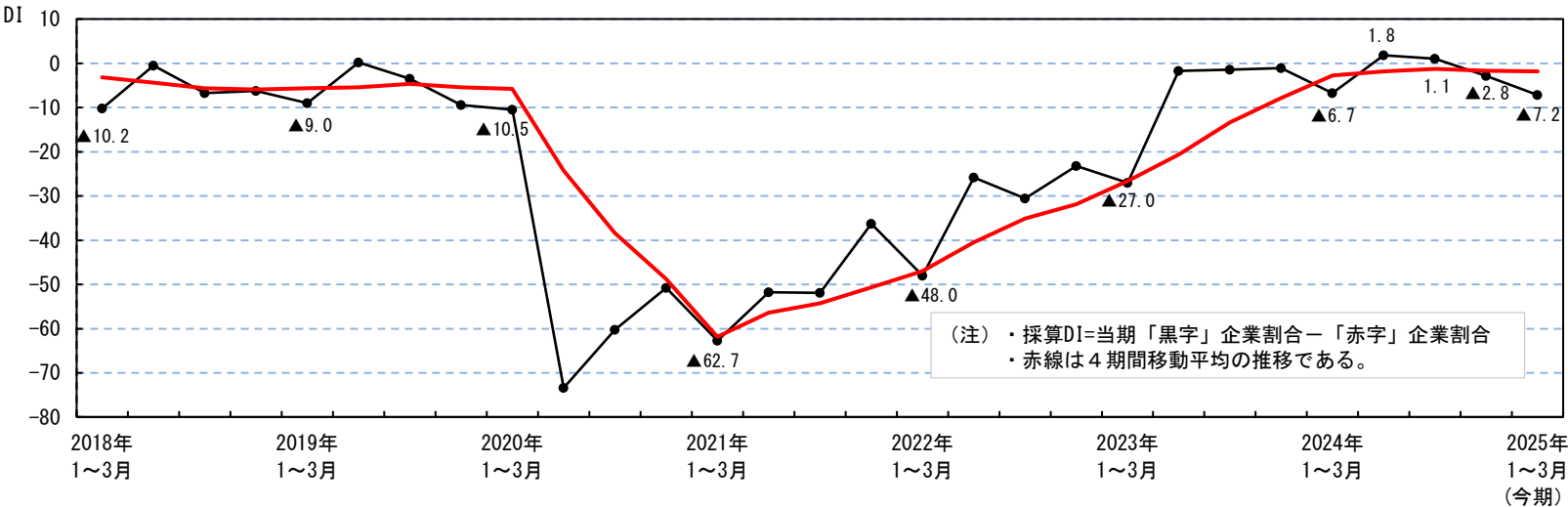
図表6 飲食業 売上DIの推移

凡例	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月	2025年 1~3月 (今期)	2025年 4~6月 (見通し)
飲食業(全体)	20.7	19.5	11.5	4.8	▲0.5	3.8
そば・うどん	22.7	24.5	29.1	3.9	2.2	▲0.5
中華料理	26.9	24.8	15.6	11.7	4.8	6.2
す し	5.6	9.3	6.1	▲7.9	1.1	5.7
料 理	30.3	18.1	4.6	8.4	2.4	0.0
喫 茶	21.1	15.4	8.5	2.0	▲3.9	▲8.4
社 交	13.3	6.2	▲0.5	▲12.7	▲16.6	▲1.0
その他飲食	24.4	27.4	13.5	15.2	3.5	11.4

3. 採 算

○ 採算DIは、前期から4.4ポイント低下し、▲7.2となった。

図表7 採算DIの推移（全業種計）



図表8 業種別 採算DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (今期)
食肉・食鳥肉	18.5	16.8	11.8	18.2	16.2
氷 雪	▲ 32.1	▲ 3.5	28.6	▲ 1.8	▲ 14.0
理 容	0.9	4.3	7.6	3.3	0.0
美 容	▲ 9.9	▲ 4.6	▲ 5.2	▲ 9.0	▲ 10.4
映 画 館	▲ 31.1	▲ 13.8	▲ 25.4	▲ 42.9	▲ 10.9
ホテル・旅館	▲ 10.6	12.7	10.6	18.1	▲ 3.9
公衆浴場	14.7	2.9	5.7	1.8	9.2
クリーニング	▲ 27.1	14.9	▲ 5.4	▲ 4.9	▲ 29.1

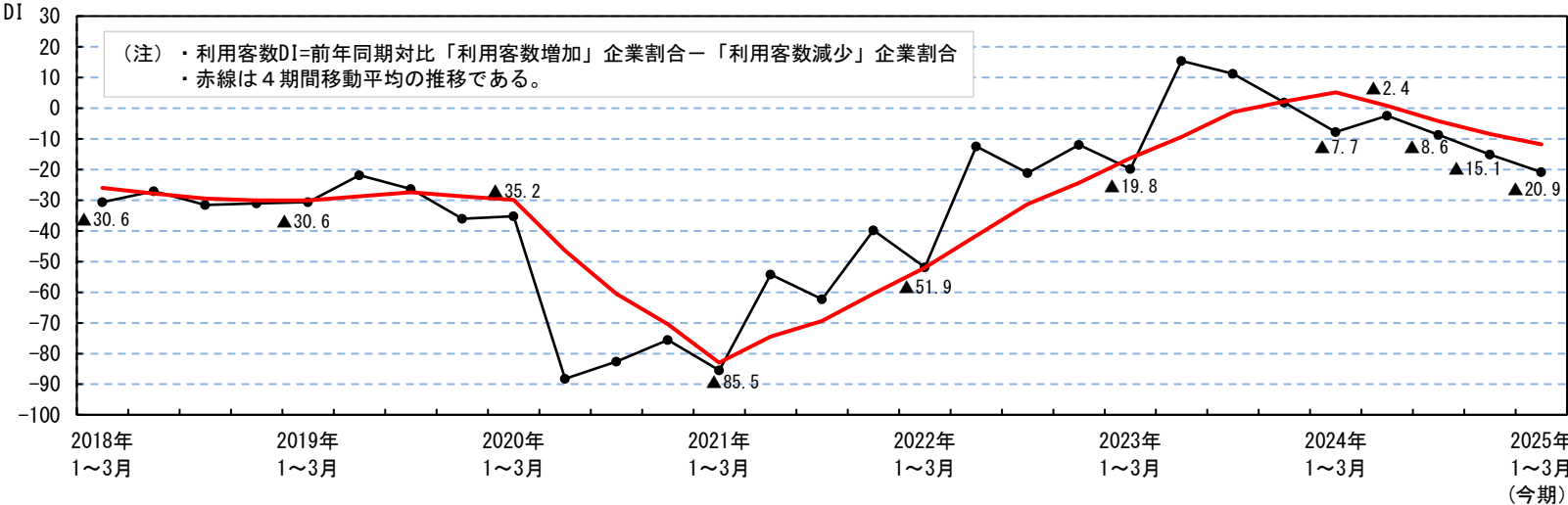
図表9 飲食業 採算DIの推移

凡例	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (今期)
飲食業(全体)	▲ 6.2	▲ 1.4	▲ 0.3	▲ 6.0	▲ 7.9
そば・うどん	▲ 2.7	2.2	19.1	▲ 0.6	▲ 0.5
中華料理	▲ 6.2	10.7	11.0	3.2	3.4
す し	▲ 10.7	▲ 7.1	1.7	▲ 10.2	▲ 12.5
料 理	▲ 2.5	▲ 5.0	▲ 11.5	▲ 7.6	▲ 10.9
喫 茶	▲ 12.5	▲ 3.3	▲ 10.5	▲ 12.2	▲ 14.3
社 交	▲ 17.3	▲ 14.8	▲ 18.5	▲ 24.2	▲ 18.6
その他飲食	0.2	3.1	1.6	0.9	▲ 5.0

4. 利用客数

○ 利用客数DIは、前期から5.8ポイント低下し、▲20.9となった。

図表10 利用客数DIの推移（全業種計）



図表11 業種別 利用客数DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (今期)
食肉・食鳥肉	▲ 7.7	▲ 1.3	▲ 17.0	▲ 9.7	▲ 14.9
氷 雪	▲ 20.8	▲ 1.8	14.3	0.0	▲ 12.3
理 容	▲ 22.7	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 28.3	▲ 30.4
美 容	▲ 25.8	▲ 24.5	▲ 24.6	▲ 33.2	▲ 34.3
映 画 館	▲ 18.0	▲ 34.5	▲ 15.3	▲ 50.0	▲ 5.5
ホテル・旅館	5.6	21.1	1.7	18.6	▲ 7.2
公衆浴場	8.3	▲ 1.0	▲ 17.9	▲ 8.3	▲ 6.5
クリーニング	▲ 36.8	▲ 5.4	▲ 19.9	▲ 31.3	▲ 40.4

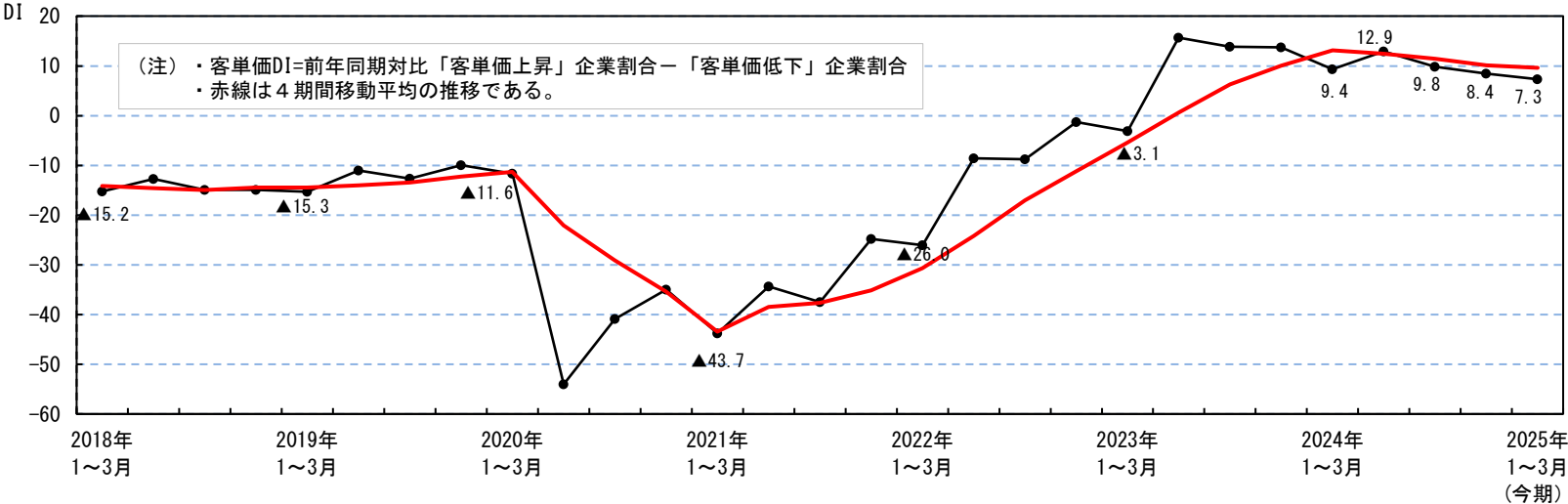
図表12 飲食業 利用客数DIの推移

凡例	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (今期)
飲食業(全体)	5.9	7.0	0.1	▲ 6.9	▲ 14.6
そば・うどん	4.4	16.3	12.1	▲ 12.9	▲ 16.4
中華料理	12.4	11.4	9.7	0.6	▲ 2.7
す し	▲ 8.4	▲ 1.1	▲ 7.8	▲ 16.9	▲ 22.2
料 理	13.1	7.2	▲ 5.4	▲ 6.1	▲ 10.2
喫 茶	▲ 2.0	2.0	▲ 11.1	▲ 15.0	▲ 24.0
社 交	▲ 1.0	▲ 3.1	▲ 9.2	▲ 20.3	▲ 23.6
その他飲食	13.9	11.0	4.5	5.2	▲ 8.8

5. 客単価

○ 客単価DIは、前期から1.1ポイント低下し、7.3となった。

図表13 客単価DIの推移（全業種計）



図表14 業種別 客単価DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (今期)
食肉・食鳥肉	4.5	1.9	▲ 9.2	▲ 5.2	▲ 11.7
氷 雪	▲ 1.9	▲ 1.8	12.5	3.6	3.5
理 容	▲ 2.6	1.9	0.5	▲ 1.0	▲ 1.2
美 容	1.5	▲ 2.0	▲ 2.4	▲ 3.5	▲ 8.3
映 画 館	24.6	22.4	5.1	1.8	20.0
ホテル・旅館	36.9	48.3	42.8	57.6	50.8
公衆浴場	19.3	6.7	▲ 0.9	7.3	6.5
クリーニング	▲ 15.1	10.7	▲ 6.5	▲ 16.2	▲ 8.7

図表15 飲食業 客単価DIの推移

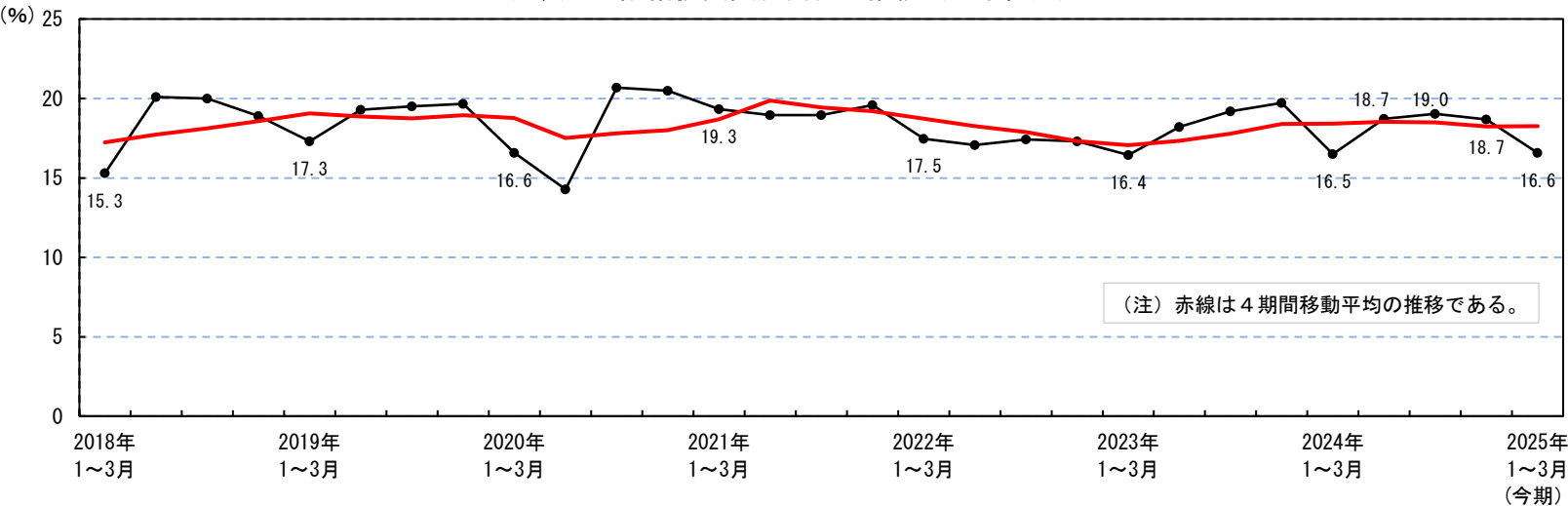
凡例	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (今期)
飲食業(全体)	16.0	18.6	18.2	15.5	13.9
そば・うどん	24.9	23.4	29.7	20.8	15.8
中華料理	6.9	24.2	23.4	19.5	17.8
す し	9.6	17.0	13.3	13.0	14.8
料 理	29.5	26.1	16.9	23.7	17.3
喫 茶	16.4	16.1	16.3	12.9	7.8
社 交	3.1	2.6	11.8	▲ 1.0	1.5
その他飲食	19.7	20.8	17.5	18.6	18.2

II 設備投資の動向

1. 設備投資の実施状況

○ 今期（2025年1～3月）に設備投資を行った企業の割合は、前期から2.1ポイント低下し、16.6%となった。

図表16 設備投資実施割合の推移（全業種計）



図表17 業種別 設備投資実施割合の推移（飲食業を除く） (%)

凡例	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (今期)
食肉・食鳥肉	29.3	31.6	32.0	35.7	29.2
氷 雪	7.5	17.5	10.7	12.7	21.1
理 容	8.5	12.4	12.6	10.8	8.0
美 容	10.8	11.3	9.8	9.4	10.2
映 画 館	34.4	32.8	28.8	26.8	32.7
ホテル・旅館	46.7	49.2	49.4	49.2	40.9
公衆浴場	37.6	44.2	41.5	36.7	35.8
クリーニング	14.7	16.1	17.2	21.5	18.1

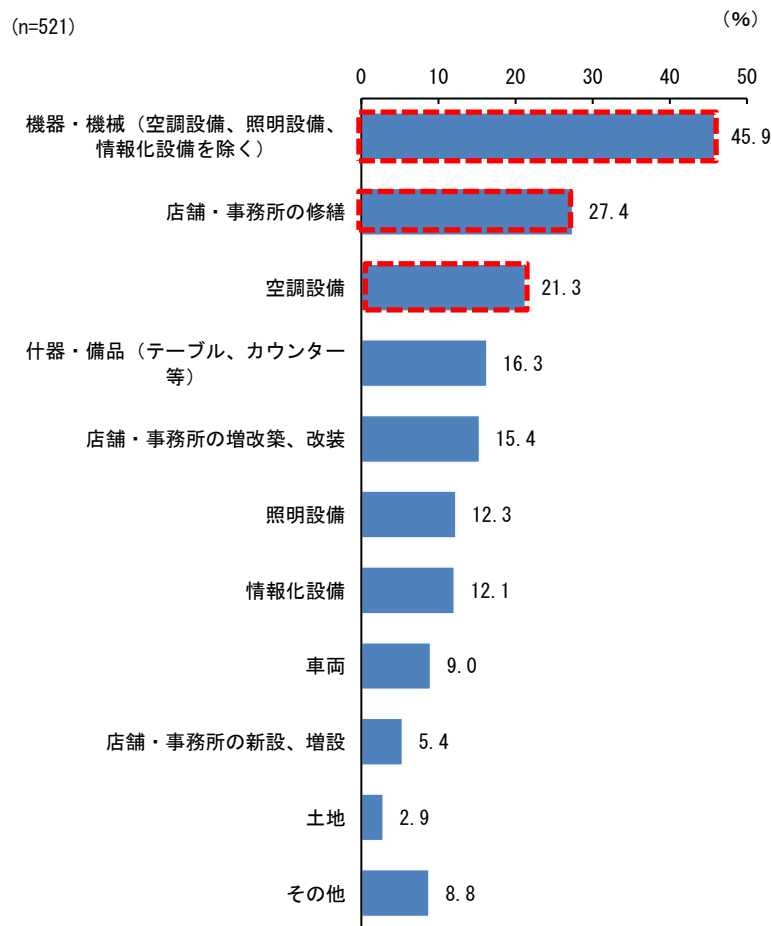
図表18 飲食業 設備投資実施割合の推移 (%)

凡例	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (今期)
飲食業(全体)	13.8	15.9	17.3	16.4	14.2
そば・うどん	16.5	17.3	18.6	18.5	16.9
中華料理	10.3	16.7	18.2	15.5	15.6
す し	12.4	19.2	18.9	18.6	15.3
料 理	19.7	21.6	23.8	24.2	25.8
喫 茶	11.8	12.0	17.0	9.5	7.8
社 交	9.7	7.1	7.2	9.1	7.0
その他飲食	15.2	17.0	18.5	18.0	14.2

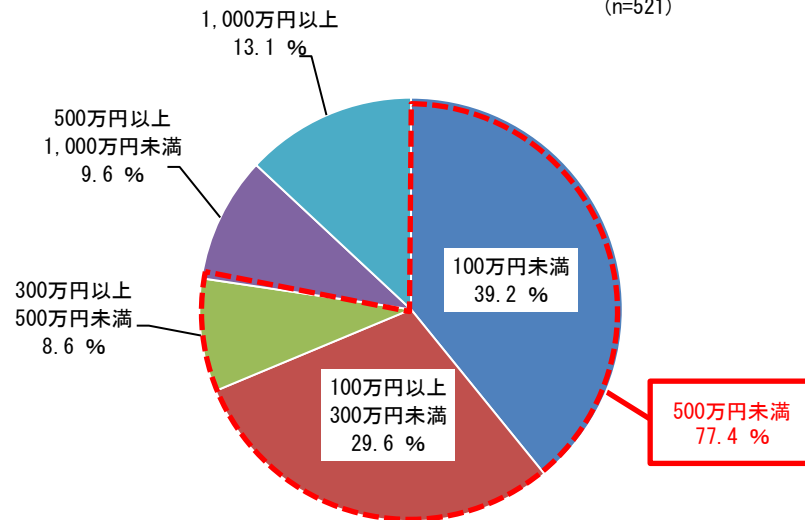
2. 設備投資の内容、設備投資金額、来期の設備投資計画

- 今期（2025年1～3月）の設備投資の内容は、「機器・機械（空調設備、照明設備、情報化設備を除く）」が45.9%と最も多く、次いで、「店舗・事務所の修繕」（27.4%）、「空調設備」（21.3%）の順となった。
- 今期の設備投資金額は、500万円未満が全体の約8割を占めた。
- 来期（2025年4～6月）の設備投資計画については、「実施予定あり」が11.8%となった。

図表19 設備投資の内容
(全業種計、複数回答(金額の大きい順に3つ以内))



図表20 設備投資金額（全業種計）
(n=521)



図表21 業種別 来期の設備投資実施予定割合
(飲食業を除く) (%)

凡例	2025年 4～6月期の予定
全業種計	11.8
食肉・食鳥肉	25.3
氷雪	7.0
理容	5.1
美容	8.0
映画館	23.6
ホテル・旅館	27.1
公衆浴場	30.3
クリーニング	9.8

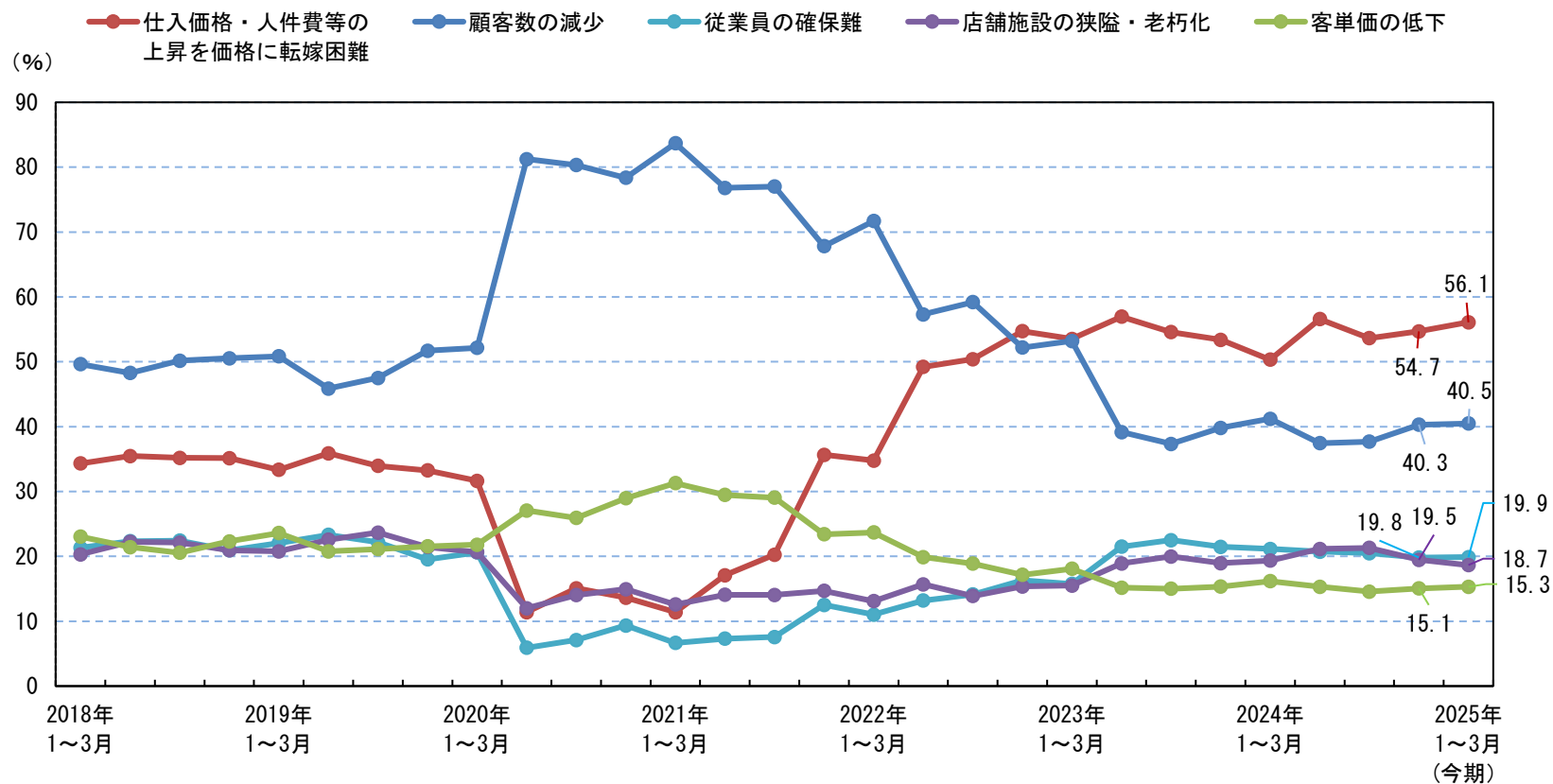
図表22 飲食業 来期の設備投資実施予定割合
(%)

凡例	2025年 4～6月期の予定
飲食業(全体)	10.3
そば・うどん	13.1
中華料理	8.8
すし	8.5
料理	18.0
喫茶	7.8
社交	9.5
その他飲食	9.4

Ⅲ 経営上の問題点

- 経営上の問題点は、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」が56.1%と最も多く、次いで、「顧客数の減少」(40.5%)、「従業員の確保難」(19.9%)の順となった。

図表23 主な経営上の問題点の推移（全業種計、複数回答（2つ以内））



図表24 業種別 主な経営上の問題点（2025年1～3月）

項 目	仕入価格・人件費等 の増大による価格・人件費等 の増大	顧客数の減少	従業員の確保難	店舗施設の狭隘・老朽化	客単価の低下	後継者難	事業資金借入難	その他	特に問題なし
全業種計	56.1	40.5	19.9	18.7	15.3	5.2	3.6	4.0	7.2
飲食業(全体)	72.0	36.3	23.5	14.6	11.2	5.0	4.5	2.7	4.6
そば・うどん	73.8	29.0	25.7	25.1	10.4	8.7	1.6	2.2	2.7
中華料理	79.6	22.4	15.0	19.0	12.2	8.8	2.7	2.0	5.4
すし	68.2	35.8	20.5	11.9	10.2	6.3	4.0	3.4	8.5
料理	75.0	35.2	30.5	19.5	7.0	2.3	7.0	1.6	2.3
喫茶	79.9	40.9	17.5	11.7	11.7	4.5	7.1	3.2	3.2
社交	56.8	57.8	22.1	6.0	14.6	0.5	4.0	4.5	3.5
その他飲食	73.6	33.4	27.1	13.3	11.1	4.6	5.0	2.2	5.2
食肉・食鳥肉	57.8	30.5	25.3	19.5	22.1	4.5	2.6	1.3	9.7
氷雪	36.8	33.3	24.6	12.3	21.1	12.3	3.5	7.0	12.3
理容	33.3	49.9	10.8	16.1	19.3	6.5	2.4	5.8	14.9
美容	32.6	54.3	13.5	12.4	24.3	4.8	2.6	5.7	11.3
映画館	40.0	50.9	10.9	54.5	1.8	5.5	7.3	3.6	1.8
ホテル・旅館	53.6	17.7	47.5	37.6	4.4	5.0	5.0	6.1	1.7
公衆浴場	45.9	29.4	9.2	58.7	3.7	8.3	1.8	9.2	5.5
クリーニング	58.1	49.8	9.1	19.6	25.7	2.6	1.9	3.4	5.3

(注) 複数回答（2つ以内）のため合計は100を超える。

Ⅳ 業況判断理由

今期：2025年1～3月 来期：2025年4～6月

(1) そば・うどん

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	茨城県	値上げを行った結果、客数は減少したものの、売上は変わらなかった。
	悪化	鹿児島県	原材料費の高騰の影響が大きく、値上げを行っても利益が出ない。
来期	不変	兵庫県	常連客中心で営業しており、業況に変化はないだろう。
	悪化	千葉県	原材料費の高騰分を価格に転嫁できず、業況は悪化している。

(2) 中華料理

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	茨城県	お客さまに値上げを受け入れてもらえたことで、売上増加につながった。
	悪化	京都府	原材料費や人件費が大幅に上昇しており、メニュー価格に十分に反映できていない。
来期	不変	北海道	インバウンドの来店もあり土日の売上は好調だが、人手不足のため、当期以上の売上増加は困難である。
	悪化	熊本県	原材料費・燃料費等の上昇に歯止めがかからず、お客さまも外食を控えている様子。

(3) すし

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	鹿児島県	インバウンドの来店もあり、客数・客単価ともに上昇傾向である。
	悪化	青森県	豪雪の影響で交通機関が麻痺し、観光客のキャンセルが増加した。加えて、人手不足により、営業日数を減らさざるを得ない状況。
来期	不変	兵庫県	売上が増加しても、仕入価格の高騰で採算は改善しないだろう。
	悪化	京都府	材料費の上昇が続いており、今後の見通しがつかない。

(4) 料理

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	広島県	売上は増加しているが、原材料費・人件費等のコストも増加しているため収益は変わらない。
	悪化	沖縄県	物価高騰とインフルエンザの流行が重なり、客足が遠のいた。
来期	好転	和歌山県	来期は大阪・関西万博が開催されるため、和歌山市内の観光客が増加することを期待している。
	悪化	岐阜県	原材料費・人件費の上昇分を今以上に価格転嫁すれば、客離れの懸念も高まり、好転する見通しが立たない。

(5) 喫茶

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	群馬県	売上は多少増加しているものの、仕入価格の高騰が続いており、価格転嫁にも限界があるため、厳しい状況が続いている。
	悪化	大分県	インフルエンザが流行したため、高齢者の客足が遠のいた。
来期	不変	宮城県	当面は今の業況が続く見通しだが、原材料費の高騰が続けば、業績が悪化する懸念がある。
	悪化	静岡県	物価高騰により消費者の節約志向が強まり、外食に回すお金が減るだろう。

(6) 社交

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	秋田県	新年会はあまり行われなかったが、常連のお客さまが多いため、業況はほとんど変わらない。
	悪化	鳥取県	コロナが5類に移行したあとも職場での飲み会需要は回復しておらず、客足も戻ってきていない。
来期	好転	三重県	来期は天気も暖くなり、歓送迎会シーズンに入るため、予約数の増加が期待できる。
	悪化	富山県	物価高騰により外食の機会が減っている。価格転嫁も十分に行えていない。

(7) その他飲食

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	長野県	インバウンドの来店が増えており、売上増加につながっている。
	悪化	滋賀県	新年会の減少に加え、原材料費や人件費の高騰により利益は減少した。
来期	好転	神奈川県	原材料費の上昇分を価格に転嫁できており、好調が維持できる。
	不変	徳島県	人手不足や原材料費の高騰が続いており、価格転嫁に取り組んでいるものの大幅な業況の改善は見込めない。

(8) 食肉

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	島根県	仕入価格が上昇したため販売価格を引き上げた。価格転嫁をスムーズに行うことができ、業況は好調である。
	悪化	長崎県	物価高騰により消費者の購買意欲が低下しており、厳しい状況が続いている。
来期	不変	福岡県	仕入価格が高止まりしたままで、今後も下がる兆しが見られない。
	悪化	愛媛県	円安が進行すれば、仕入価格や原油、飼料価格のさらなる高騰が見込まれ、業況は一層厳しくなる見通し。

(9) 食鳥肉

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	岡山県	コロナが5類に移行してから消費は回復傾向にあるが、物価高騰により売上には結び付いていない。
	悪化	兵庫県	物価高騰により、消費者の購買意欲が低下している。
来期	不変	岐阜県	売上はほぼ横ばいの見込みだが、燃料費の上昇が懸念される。
	悪化	鹿児島県	鳥インフルエンザの流行の兆しがみられる。鶏肉の仕入が難しくなるため、業況は悪化するだろう。

(10) 氷雪

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	福島県	冬場はイベントが少なく、飲食店への卸売のみのため、業況は変わらない。
	悪化	宮崎県	電気料金の値上げが大きく響いている。また天候不順の影響により野菜関係の入庫が極端に少なくなっており、売上も減少している。
来期	好転	神奈川県	お花見に伴う需要増加に期待したい。
	悪化	奈良県	原材料費・光熱費等の高騰により値上げを余儀なくされている。来期は売上減少が予想される。

(11) 理容

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	香川県	12月から値上げしたことで客単価は上昇したが、客数は伸びず、業況は変わらない。
	悪化	沖縄県	価格転嫁により売上は増加したものの、物価上昇のペースには追いついていない。
来期	不変	福岡県	暖かくなり、お客さまの外出機会の増加が見込まれる一方で、諸経費の値上げラッシュが懸念される。
	悪化	新潟県	物価高騰の影響でお客さまの来店周期が伸びていることに加え、常連客の高齢化により客数が減少しており、業況は悪化する見通し。

(12) 美容

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	神奈川県	固定客が多く、売上は安定している。
	悪化	群馬県	物価高騰により、サロントリートメントの利用控えや、コースメニューの価格帯を下げるお客さまが増加している。
来期	好転	福井県	春以降は人の動きが活発になるため、業況の好転が見込まれる。
	悪化	岡山県	物価高騰により、美容にかかるお金を節約する傾向がみられるため、業況は悪化するだろう。

(13) 映画館

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	和歌山県	好転	アニメ作品を中心に邦画が好調で、業況は好転した。
	青森県	悪化	コロナ禍以降のライフスタイルの変化により、家での娯楽にシフトしており、来場者数が減っている。
来期	宮崎県	好転	ゴールデンウィーク期間を含むため、当期よりも好転が見込まれる。
	静岡県	不変	春休みに向けて大作の公開を控えている。全体としては現状維持の見通し。

(14) ホテル・旅館

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	香川県	円安の影響でインバウンドが増加傾向にあるものの、国内観光客の旅行控えが目立っている。
	悪化	徳島県	人手不足により清掃業務を短期アルバイトで対応しているが、コストが嵩んでいる。仕入価格も高騰しており、利益を圧迫している。
来期	好転	青森県	ゴールデンウィークを中心に予約が好調で、業況は好転する見通しだが、経費の増加分を価格に転嫁できていないため楽観視はできない。
	悪化	三重県	大阪・関西万博の開幕に伴う需要増加への期待はあるものの、仕入価格の高騰に歯止めがかからず、厳しい経営環境が続くだろう。

(15) 公衆浴場

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	愛知県	サウナブームにより新たな客層が定着した。
	不変	石川県	近隣のお客さまは減少傾向にある一方で、遠方からのお客さまが増しており、売上をカバーしている。
来期	好転	兵庫県	来期は暖くなるため、燃料費等の支出が減り、採算は改善すると予想している。
	悪化	北海道	光熱費が高騰しているが、業種柄すぐに価格転嫁できないため、採算は悪化する見通し。

(16) クリーニング

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	和歌山県	新規客は少しずつ増えているものの、物価高騰の影響で消費者の節約志向が強まり、常連客の来店サイクルが伸びているため、業況は変わらない。
	悪化	奈良県	今冬は寒くなるのが遅かったため、防寒衣類を着る機会が少なく、クリーニング需要が伸び悩んだ結果、取り扱い点数が減少した。
来期	好転	長野県	3月中旬より冬物の衣替え需要が始まるため、5月までは業況が好転する見込み。
	悪化	大分県	物価高騰により、消費者がクリーニング代にお金を回しづらい状況が続くだろう。